

まちづくり懇談会 長島

日時：平成 30 年 10 月 26 日（金）午後 7 時～8 時半

場所：消防防災センター

4. 「はたらく」「たべる」「くらす」の政策について

■企画部長 長島町のまちづくりについて、地域計画に沿って説明する。本来は地域自治区から説明頂くところですが、時間の関係で私から端折って話しをする。

長島町の地域計画。地域計画とは、現在恵那市では第 2 次総合計画の実施期間中です。平成 28 年度から 37 年度の 10 カ年の 3 年目になる。この総合計画に合わせて、13 地区それぞれに、10 年後どういう地域を目指すか、平成 27 年度に地域計画を定めて頂いた。現在はこの計画に基づいて各地域で事業を実施して頂いている。

地域計画の内容。キャッチフレーズ、10 年後「心やすらぐ、心ひろがる、心つながる、まち長島」を目指して、計画の柱を 3 つ掲げている。1、災害を少なくするまち。2、地域の歴史・伝統・文化を発見し楽しめるまち。3、元気なまち。この柱に沿って事業を実施されている。事業を実施するに当たり、市から補助金を出して支援している。今年度の補助金の内容は、5 つの事業を申請して頂き、内容を審査した中で 122 万円交付している。長島町と大井町の連携事業で 1 事業申請頂いており、68 万円の補助金。それから、補助金とは違うが、各地域で自由に使える交付金があり、13 地域均等割に人口割を若干上乘せして 171 万 8 千円。計 361 万 8 千円で地域自治区の運営を実施して頂いている。

計画の柱に沿って事業を紹介する。

防犯・防災・交通安全対策。計画の柱 1。実施団体は自主防災会議、交通防犯パトロール隊ほか。目的は災害を少なくするまち。恵那北小学校の水消火器訓練、夏休みの一斉パトロール。こうした活動を年間通じて行っている。

中山道えなの森の森林保全活動。計画の柱 2。実施団体は中山道恵那の森里山協議会。目的は森林保全活動を通じた地域活性化。今年の活動、植物観察、森の幼稚園の見学会。

歴史的資源の活用。計画の柱 2。実施団体は地域活性化実行委員会。目的は地域の歴史伝統文化の再発見と継承。内容は、梅露庵公園を活用した梅祭り。

中山道のれんコンテスト。計画の柱 2。大井町と長島町の連携事業。実施団体は中山道のれんコンテスト実行委員会。目的は交流人口の増加と地域内の活性化。今年は 11 月 3 日から 23 日にかけて実施予定。

ウォーキングイベント。計画の柱 3。実施団体はウォーキングクラブ歩いC i a o。

目的はウォーキングイベントで健康づくり。毎月1回以上開催している。

地域のふれあいサロン。計画の柱3。実施団体はC i a oカフェと、高齢者サロンの活動団体。目的は子育て中の母親たちの情報交換、憩いの場、高齢者の健康増進。C i a oカフェは年7回、高齢者サロンは毎月1回各地で開催。

「心やすらぐ、心ひろがる、心つながる、まち長島」を目指して、西尾会長の下、まちづくりに引き続き励んで頂きたい。

■市長 長島町の状況と事業等について。

人口は1万人から、直近で9,400人。減り幅は少なく、人口が多い。大井町が1万3千人、長島町が1万人で、合わせて2万4,5千人なので、恵那市の半数を占める。

大井・長島で中心地を形成している。市全体の人口は、恵那市の平均が-10.9%で、長島町は-7%。子どもは100人弱毎年生まれていたが、最近減っている。かなり急激な減り幅。生まれた子の数と現状の子どもの数を見ると、平成23年に92人生まれ、今97人。5人外から移ってきた。もしくは娘さんが帰ってきたとか。ただ、長島町では減っているケースの方が多く、平成29年に63人生まれたが、今いるのは59人。生まれた後どこかに引っ越した人が多い。岩村町や中野方町では、生まれてはいないが、小学校に入るまでに子どもが増えている。長島町全体としてもこのあたりを考えて頂きたい。長島町の出生数の割合は、-30%。

長島小学校の子どもは今年505人で、5年後、今1年生の子が6年生になったとき、401人で100人ぐらい減る。北小学校は72人が54人に減る。ただし、中学校は今370人おり、5年後は403人で若干増える。これから急激に子どもが減るので、今のうちに手当をすると良い。

事業について。恵那西工業団地、旧ヤマギシの後、それに付随して榎ヶ根の入口から恵那西中学校の前を通り恵那峡カントリーの方の道を抜けながら富川化学に抜ける道路がよいよスタートする。平成30年度、7千万円強の予算で用地、補償等について今交渉している。設計もかなり進めている。

正家第二土地区画整理。道路事業は市で責任をもって行っており、恵那川上屋の前からファミリークリニックの前の道が2車線で正家の南に抜ける。百万ドルの前の清水の交差点から東野へ抜ける道。この2本は都市計画道路なので市で行っている。全体で2億4千万の事業費で今年度は1億円。来年度いっぱい掛かって完成する。

おさしま二葉こども園に合わせて周辺の道路整備がある。交通安全対策を含めて道路の環境を今整えている。文化センターの前を今通行止めにして道路改良を行っている。大洞亜炭道路の改良もこれから発注する。

おさしま二葉こども園。来年4月スタートで、長島こども園は学童保育としての運用が

スタートする。使いながら一部改修する。二葉こども園は31年度に取り壊し予定で、完全にこちらに移行する。

リニアに関して。送電線、変電所の件。久須見地内に変電所を設け、その後、送電線を久須見から笠置に運んで行って中津川方面へ運ぶ。変電所について現地調査、測量設計については今実施済。取り付け道路、排水先は測量設計で協議中。送電線の鉄塔は調査、用地測量について、立ち合いの準備をしている。引き続き色々な心配をかける。色々な面で協力をお願いすると同時に、市も間に入って皆様の不安解消に努める。

リニア本体。長島町では地面の中を通るが、掘削残土は交通上の懸念もある。昨年あまり動いていない。JR東海の説明では、今年3月に用地説明を中野乗越地区で行なった。発生土は昨年9月にルート案を出し、色々心配なところもあるだろうが、検討頂いている。特に懸念するのは永田のランプで、大井の非常口から出てくる土を、遠くを回しながら19号を通過して永田のランプから三郷、山岡に持って行くという話もあるし、大井から来る分は、19号を通り永田のランプを使って三郷、257号線を使って山岡という計画のようだ。心配があると思うので、その都度、市でも皆様の心配に答えるようにする。

エコセンター恵那。とりわけ久須見の皆様にはご協力頂き感謝する。平成15年から稼働しており、20年の約束だが、これを上手く行っていきたいと思っている。実績。29年度可燃ごみはピークに比べて2.3%減り、不燃ごみは約30%がピークから減った。資源ごみも16%減っている。ごみ減量化の取り組みと併せて、こういった取り組みも進めたい。

リコーエレメックス。旧リコー時計。恵那市にとっては企業誘致第1号で、昭和39年に操業を開始している。名古屋で伊勢湾台風で被災した旧高野時計がその前身で、リコーの支援を受けて恵那で立地した。今は時計事業に加えて自動車関係で新しい棟をつくるということで今投資に入っている。

長島町地内では、久須見にたんぽぽ作業所がある。今利用者が、入所者を含めて223名いるし、25施設ある。日本の中でもトップクラスの取り組みで、すでに30年を超えている。働くことは生きることということだ。どんな子でも働いて自分でお金を稼いで生きていくことが大切だという哲学で行っている。

正家廃寺跡・恵那の里次米みのり祭。正家廃寺跡は国の史跡として平成13年に指定された。2.5haの大変広大な土地だ。先日も要望頂いたので何とか整備したい。

これと関連して次米のお田植祭り、みのり祭りということで、イベントを地域の皆様が一生懸命取り組んでいる。多くのお客様にお越し頂いている。正家廃寺の件と含めて、正家一帯に東山道時代の遺跡、それにまつわる話を売っていけると良いと思う。引き続き取り組みたい。

魅力。一つは中山道の桜。追分のところも大変いい景色が残っている。お客様に喜んで頂ける資源だ。西行の硯水公園、桜、梅、千田のヒトツバタゴは天然記念物だと思うが、

こういう自然の見るものもたくさんある。長島町全体として大変すばらしい環境が整っている。こういうところを生かしながら恵那市の活性化、元気な長島町づくりに取り組みたい。

5. 意見交換

■司会 質疑ははたらく、たべる、くらす、まなぶに対するご意見や、これらに付随する事項に限る。

■地域自治区委員 1 特に「まなぶ」について質問する。昨年も申し上げたが、長島小学校の改築事業。昨年はこちらから小学校の老朽化しているところをスライドで見せた。その返答は「検討する」ということだった。市の教育委員会から回答があったが、長島小学校校舎建設検討委員会を立ち上げ、配置、構造、施工等について検討していきたいということだった。確かに予算の関係、またこれだけ教育関係で大規模改修を行っておりかなり予算が必要だとは思いますが、来年4月おさしま二葉こども園が出来るとし、道路も改修される。長島ではこの地区に関しては数年も前から、たとえばゾーン30とか文教地区として整備したらどうかという話をしてくれている。あそこでこども園も出来て道も直ったということであれば、文化センターも改修されるので、すでに40年以上経っている老朽化した長島小学校の改築をぜひお願いしたい。ここが文教ゾーンとして整備されれば、子どもが増えるかもしれない。色々期待出来る。いつ頃検討委員会を立ち上げどのような配置をするか、あるいは、検討委員にはどういう人を選ぶのか、どのような方向性でこの検討委員会を行っていくのか、回答頂きたい。

■市長 即答すると帰って叱られそうなので、承りましたということで。西尾会長からも最初に話があったし、昨年に引き続き話があった。サボっているわけではない。こども園を軌道に乗せることが大きな事業だ。これがほぼ完成に近づいたので、次は皆様の期待は小学校だろうと感じる。今すぐに何年に検討委員会ということは、検討した上で回答する。少し時間を頂きたい。

■司会 出来るだけ早い時期に書面等で、ロードマップのような形で回答頂きたい。

■地域自治区委員 2 昨年もこの会で質問したことについて、どうなったか確認したい。空き家利用の件。市も空き家バンクやくらしビジネスサポートセンターという形で力を入れている。ただ、ホームページを見ると、長島の物件が非常に少ない。現状、今長島ではどうなっているかということと、それに対して、こんな成果があった、こんな状況にあるというところが分かれば聞きたい。併せて、市全体としてこういう効果があってこういう状況だということを知りたい。

もう一点は、昨年も話したのは、長島の中心の中野にも空き家はかなりあることから、

そこを何か開発して使うことが出来ないかという提案をした。発端は、新婚の夫婦が恵那で家を探しても、賃貸を含めて適当な広さのところに全く空きがない。恵那市で住むのをやめて他を探すという声を聞いたことがあるという話をした。市長の言われる、くらす、たべる、はたらく、まなぶという中で行くと、職場は恵那、住むのも恵那というのが理想だと思う。まず恵那に根を生やしてもらうために住居ということを考えると、JR恵那駅に近いし名古屋へも通勤圏内なので、そういうところの家族向けの住居や環境を整えると、人口の流出、出生数の低下に歯止めがかかると思う。そういうところなら市外からも入ってくると思う。街の便利の良いところについての市のプランがあれば聞きたい。

■市長 空き家バンクは、ホームページには常に掲載している。ただ、個人で家を持っていて空いているから使ってほしいというケースで物件を載せるというのが一つのパターン。もう一つは、町ぐるみで、特に串原や中野方もそうだが、地域の皆様が物件を探して、「あなたのところは空いているから登録しなさい、それが町のためだ」というせんしょなことをしながら、町全体として行っている。特に、たとえば仏様があるとか、年に何回か帰ってくるから貸せない、片付けないといけないから貸せないというケースが非常に多い。そういうところは、たとえば中野方町では、町の人たちが皆で行って片付けたり、仏壇も動かしたりして、貸せる状態にして物件を作っている。なかなか、市で一軒一軒物件を当たって、登録してくださいというところまではマンパワーがない。今おっしゃったような話があれば、近所や自治会の皆さんなどで推奨する活動をして頂きたい。逆にお願ひ申し上げる。

駅に近い市街地の住宅の構想は、今のところ、具体的なものはなく、ぜひそんなこともあれば、市は支援する態勢を調べているので、この地域を市街化出来ないかとか、農地転用を含めて住宅に向けて動かせないかということがあれば、相談したいし、何人か集まってくれば説明に行く。宅地や住む家の確保については一生懸命取り組みたい。一方通行でなく地域の皆様と話をしながらということでお願ひしたい。

■企画部長 空き家に関して、長島という地域的なことではなく、恵那市全体について、昨年話しを頂いたので、その後の動きについて説明する。

市全体で空き家が増えている。空き家等の対策計画を作って対応していく。今年30年の2月から3月に空き家に対してアンケート調査をした。空き家である652棟の所有者に意向調査をした。約半数から回答頂き、その人にぜひ空き家バンクに登録してほしいというお願ひも併せてしたところ、空き家バンクの登録物件も1.5倍になっている。市長が言ったように、空き家の定義も難しいので、市全体で調査するのは難しいので、出来れば地域でそういった空き家の情報収集も併せて引き続き行う中で、市と地域と一帯となって取り組む必要があると思う。ぜひ、今後もそういった意味でご協力頂きたい。

■司会 委員の質問は、昨年同様の質問だ。市の回答が、将来的展望などについて分かり

づらいということで再度質問した。特に、空き家対策については、市長の話では地域の諸事情があるということなので、服部部長が言われるように、地域と相談しながら今後進めていきたい。今後の方策等について、時系列とか、具体的な方策についての回答をお願いしたい。

■市長 た例えば三郷ならみさと愛の会という団体を作っていて、特に地域の中の運営組織として、そういったところが主体となってそれぞれ空き家がないかを各自治会単位ぐらいで調べたりして、その中で活用出来るところはないかという動きをしている。私どもとしては、それを強制するつもりもないが、情報としてはつかみきれてないところがあるので、そんな取り組みをして頂く中で、色々な情報を寄せてもらえれば、それに当たる事が出来る。情報の収集が一番大事だと思う。期限はないので、若干これから人口の先行きが心配な中で、子育てを考えている人などが入ることで環境が変わると思うので、ぜひ、検討頂きたい。

■司会 今後も地域と話し合いをもって進めて頂きたい。

■市民1 市の対応、方針及び状況。子育てについて。チャオカフェでの話題。恵那市での不安は、登校拒否児が増えている。地域力をもっとアップし、子育てしやすい環境にしたい。女性の地位的立場もバックアップの視野に入れて頂きながら、市をより活性化していきたい。子育て世代包括支援センターは地域の子育て支援の育成という役割を担っており、必要に応じて民生委員、協議会を通じて情報提供を行っていく。不登校の児童生徒については学校でも状況に応じてきめ細かい対応を引き続き行っていく。

こういう方針や状況を回答で頂いている。子育て、登校拒否は現在恵那市でどのぐらいか私は把握していないが、私の知人から聞いた話がある。小学校の女の子で名古屋に住んでいる。1年前にいじめなどで登校拒否が始まった。親は子どもに一生懸命になるので、母親がインターネットを通じて沖縄のある島に、夫と別れて移住した。子どもは半年の約束で学校を離れて向こうの学校に編入した。半年して帰る頃になり、やっぱり子どもはまだ帰りたくない。で、延ばして、1年経って戻ってきた。1年経つと子どもはすごく発達する。登校拒否がすっかり治ってしまった。そういう意味で、親子別れて生活し、お父さんがちょこちょこ沖縄に行くようになった。

あるテレビで、隠岐の島の方だったと思うが、子どもたちを集めて島で子どもたちだけの生活。島では世話をする人がいたと思う。そういう子どもたちが、自然の中でいきいきと成長し、活気を取り戻す。すくすく育ったと思う。

私の知人は、戻ってきて、ただし別れての生活が非常につらい。あるときには父親は、島からこちらへ戻ってくるときに涙を流して別れを惜しんだという話をしていた。

これはほんの一例かもしれないが、そういうことを、経済的にも色々負担がかかる。そ

うすると、子どもは国の宝で、恵那市でも子どもは宝ものです。人口減少のグラフを見てつくづく思うが、何とか市でそういう取り組みが出来ないか。

たとえば、どこかの市と姉妹提携を、そういう意味合いで、子育ての支援をもう少し出来る方法はないか。名古屋の知人の例のように、ある程度姉妹提携した人の子どもたちの交流、一定期間の勉強の派遣、そういうように子どもたちを何とか守ってもらえないか。

具体的にという感じで受け取れないので、色々な人の意見を聞きながら施策を立てて頂きたい。

■市長 環境を整えることで子どもたちが元気になる、恵那市としてもそういう環境を提供することが出来るのではないかという話だと思う。

記憶が定かではないが、長野県か飛騨地方は山村留学の制度があり、都会の子が山村や過疎地の少人数学級に行くことでストレスを軽減したりする取り組みをしているようだ。恵那市では今のところないが、一部では学校の存続も含めて、長島小学校はわりと規模が大きい、たとえば串原や飯地はすでに学級数が減ってくる中で、都会からの子どもを受け入れたらどうかという議論もなされたようだ。今のところ確定したことはないが、可能性があれば探っていくても良い。そういう情報があれば私どもにも知らせてほしい。もう少し詳しく勉強したい。

■市民2 リニアの発生土運搬ルートで、永田ランプを気にかけて頂いていることにお礼申し上げます。心配しているのが、地域自治区の中でJRからの説明があったが、説明とまではないかというある意味遺憾な状態だった。具体的なことは、JRは、工事の施工業者が決まってから説明すると言っている。発生土運搬ルートはリニアの工事直接ではなく関連したものであり、リニアの工事開業まで遅れてくると非常に余裕がない状況で工事をして発生土運搬が始まるのが想定される。そういう状態で地元の理解を得ながら対策を行っていくのが非常に心配だ。JRの工事施工業者が決まってから説明するという状況だと、期間がないから地元の理解がおざなりになるのが想定される。市がJRに指導して、そういうことがないように対応して頂きたい。

■市長 永田ランプ周辺の交通の混雑が一番心配される。永田ランプ、県道、国道の交差点になるので、管理者は県・国になる。おいておくわけにいけないので、恵那市としては、地元の皆様の声を集めて道路管理者に伝える。出来る対策を考えて提案する。JRは明確な方針、対策を打ち出していない。これについてもなるべく早く情報を出して、出来る対策を提案して頂き、それに対して地元はイエスかノーか、若しくはもっとこうしたら良いという協議をする中で次のステップになる。私どもも皆様方と意見を交わしながら、心配が少しでも払拭出来るように努める。

■司会 リニア発生土運搬については、私も運営委員会の一員として、JRの対応が、業

者が決まってからという、遅い、逃げているという印象を受けるので、行政からも働きかけてある程度目途が立つ方策を地域に示してほしいということを伝えて頂きたい。

6. 市長お礼のあいさつ

■市長 本日は金曜日の夜の貴重な時間に集まって頂きありがとうございました。色々な意見を頂きありがとうございました。ハードルの高い質問もあったので、持ち帰り担当と協議をして出来るだけ早く回答したい。

今日言えなかったことがあれば、水野議員、近藤議員、長島振興室の職員がいるので、伝えて頂ければ返答する。

■司会 無理のないお願いで行かれるようお願いしたい。

■地域協議会副会長 ご苦勞様でした。市長が語る会になったように思う。かゆいところに手が届く施策を行って頂いている。我々の気づいてないところもご説明頂いた。長島としても提案がいくつかある。今回出した要望はほとんど昨年と同じだ。新しいものを出しても「また検討します」で終わっては意味がないので深く掘り下げて同じものを提案した。早く具現化するようにお願いする。

[閉 会]